

古代学学術研究センター・研究会
古代のみやこを考える

日時： 10月25日（木）16:30～18:00

会場： 奈良女子大学文学系S棟1階124講義室

報告： 9世紀の京職財政について

宍戸 香美（奈良女子大学博士研究員）

都城行政機構である京職は、京戸からの租税収入をその主要財源としていたと考えられるが、京職財政については不明な点が多い。本報告では京職財政について、市川理恵氏による8世紀の整理を参考にしつつ、9世紀への展開を考察する。特に、9世紀には職写田が発展し、元慶官田の成立に先行して京職領化したと考えられる。

報告では、律令財政構造の変質過程の中に、職写田を位置づけることを試みたい。

事前申し込みは不要、参加費は無料です。

多くみなさまのご参加をお待ちしています。

問い合わせ先：奈良女子大学 館野和己研究室（0742-20-3307）